

平成 30 年度「我が国における地球観測の実施計画」(案)  
集計概要

(1) 合計登録数: 467 件(うち再掲 274 件)

(2) 省庁等別の登録数(件)

総務省	37(うち再掲 20)	国土交通省	3(うち再掲 0)
文部科学省	231(うち再掲 153)	国土地理院	8(うち再掲 0)
農林水産省	6(うち再掲 0)	気象庁	78(うち再掲 50)
林野庁	4(うち再掲 0)	海上保安庁	11(うち再掲 1)
水産庁	7(うち再掲 4)	環境省	62(うち再掲 33)
経済産業省	19(うち再掲 13)	資源エネルギー庁	1(うち再掲 0)

(3) 登録数の推移(件)

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
全体(再掲を含む)	459	449	467
全体(再掲を除く)	212	207	193
観測	132	130	125
機器開発	59	58	55
データ利用研究	139	138	131
その他	15	15	16

(4) 主な観測手段別登録数の推移(件)

	全体(再掲を除く)		
	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
衛星	54	52	52
地上	50	51	45
船舶	35	35	35
ブイ	9	9	9
航空機	11	11	11
地震計	11	12	12
レーダー	4	5	5

(5)新規／拡充項目

(5-1) 新規項目(9件, うち再掲6件) (平成 30 年度予算額)

No. 24(環境省)

「温室効果ガス観測技術衛星 3 号機」 (72 百万円の内数)

No.290(気象庁)

「大気環境観測データ同化と化学輸送モデルによる解析・予測」  
(気候変動対策業務の内数)

No.387(経済産業省)

「政府衛星データのオープン&フリー化及びデータ利用環境整備」  
(1,200 百万円)

(5-2) 主な拡充項目(16 件, うち再掲 9 件)

平成 30 年度予算額(平成 29 年度予算額)

No.8(文部科学省)

「温室効果ガス観測技術衛星 2 号『いぶき 2 号』」  
4,734 百万円(1,486 百万円)

No.9(文部科学省)

「気候変動観測衛星『しきさい』」 1,641 百万円(324 百万円)

No.19(気象庁)

「世界気象機関(WMO)温室効果ガス世界資料センター(WDCGG)の運営」  
48 百万円(12 百万円)

No.201(文部科学省)

「首都圏を中心としたレジリエンス総合力向上プロジェクト」  
456 百万円(397 百万円)

No.272(農林水産省)

「イネ群落の微気象と高温障害の実態解明のためのモニタリング」  
12 百万円(7 百万円)

No.391(環境省)

「気候変動適応情報プラットフォームの構築・運営」  
95 百万円(85 百万円)

No.458(国土地理院)

「南極地域観測」 56 百万円(38 百万円)